

## 鹿児島市デジタル田園都市構想総合戦略 ～第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)～ (素案)に対し意見表明

～DX化を推進する際はサイバーセキュリティも同等に推進すべきである旨意見表明～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部鹿児島損保会（会長：大熊 健志 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鹿児島支店長）では、2023年12月21日付で公表された「鹿児島市デジタル田園都市構想総合戦略～第2期鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略(改訂版)～(素案)」の意見募集に対し、2024年1月25日付で意見表明を行いました。

当該戦略はこれまでの地方創生の取組を、デジタルの力を活用して継承・発展させていくため、「鹿児島市デジタル田園都市構想総合戦略」として、改定するものです。

鹿児島損保会では、「稼げるしごとで活力をつくる」等の4点の基本目標に賛同したうえで、鹿児島市として、中小・中堅企業等のデジタル化やDX化を推進する際には、サイバーセキュリティについても同等に推進すべきであるとの意見表明をしております。

### 《主な意見内容》

#### P5 第2章デジタル田園都市構想の実現に必要な施策の方向 I 基本目標

「人口ビジョン」でしました基本的視点と国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における施策の方針にそって、本市が掲げた4つの基本目標について賛同いたします。

#### P13 第2章デジタル田園都市構想の実現に必要な施策の方向 II 今後の政策の方向 3. 積極戦略

##### (1) 稼げるしごとで活力を「つくる」

中小・中堅企業DXの推進により、戦略でも記載のとおり、国内外への販路拡大、商品・サービス等の高付加価値化や女性や高齢者等の活躍促進が図られるものと考えており、大消費地から遠い本市の地理制約を考慮すると、他地域に増して、DX化を推進は重要と考えております。

デジタル化やDX化により、先に挙げた効果のほか、労働生産性の向上や事業の円滑化が図られるものの、その一方で、システムが停止した場合の事業への深刻な影響やサイバー犯罪に巻き込まれた際の企業信用や業績への影響は甚大になることから、DXの推進とともにセキュリティも同等に推進すべきと考えておりますので、当該戦略にセキュリティに関する施策を追記いただきたい。